

質問に対する回答について
工事名)磐越自動車道 束松トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	<p>設計関係図書 質問に対する回答書 12-3 質問回答 12-3 にて、トンネル掘削「D II-a (H) -AFS-K」に「盤下げ部 ずり積込・運搬」が含まれると回答がありました。この回答の「盤下げ部」とは「盤下げ部掘削 (インバート部一次掘削)」を指している認識でよろしいでしょうか。また、「インバート一次埋戻し箇所の掘削」にて発生するずりについての積込・運搬は「ずり処理工 B1」にて計上する認識でよろしいでしょうか。</p> <p>上記の場合、現在「ずり処理工 B1」は「盤下げ部掘削 (インバート一次掘削)」の数量が計上されているため、数量が変更となると思われます。インバート部の一次・二次掘削のずり積込・運搬がそれぞれどの単価に計上されるかご教示願います。</p>	<p>「盤下げ部」とは、ご認識通り、「盤下げ部掘削 (インバート部一次掘削)」箇所となります。</p> <p>なお、ずり処理工 B1には、トンネル掘削「D II-a (H) -AFS-K」の「インバート一次埋戻し箇所の掘削」にて発生するずりの運搬が含まれます。</p> <p>また、「盤下げ部掘削 (インバート部一次掘削)」にて発生するずりの積込・運搬、及び「インバート一次埋戻し箇所の掘削」にて発生するずりの積込は、トンネル掘削「D II-a (H) -AFS-K」に含まれます。</p>
2	<p>設計関係図書 設計図 トンネル 33/141 鋼アーチ支保工 (D I - S) 材料表 から H 形鋼は 1 基当たり 4 ピースで構成されるような記載となっていますが、上・下半継手板の詳細図、上・下半継手板及びボルト・ナットについて材料表への記載がありません。2 ピースの施工でよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>D I -K2-S の鋼アーチ支保工は、1 ピース当たり $L = 3,997 + 1,434 = 5,431$ の計 2 ピースとなります。</p>

3	<p>設計関係図書 設計図 参考図 11/45 令和 7 年 6 月 6 日掲載の「質問に対する回答について⑨」 「現場内の仮置場」とは、請負者の計画に基づく任意箇所との回答ですが、参考図 11/45 の STA. 642+90 付近に「現場内仮置場 約 50m²」の表記があります。こちらの表記位置とは異なるとの認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>令和7年6月6日掲載の「質問に対する回答について⑨」質問番号 2 における回答の通り、特記仕様書 41 頁 用排水撤去工 (2) 種別の区分内容に記載の「現場内の仮置場」は、貴社の施工計画に基づく任意箇所となります。参考図 11/45の「現場内仮置場 約50m²」を仮置場と使用しても構いません。</p>
4	<p>設計関係図書 設計図 参考図 9/45 坑口切付について、土のう (62cm × 48cm) の数量が 2, 134 袋ですが割掛対象表参考内訳書では 3, 615 袋と異なります、どちらが正しいでしょうか、ご教示ください。</p>	<p>割掛項目における坑口切付費の土のう数量は、2, 134袋となります。</p>